

## HIRAKU Project Vol. 16 鈴木のぞみ

## 「The Mirror, the Window, and the Telescope」6月8日（土）開幕

写真を通じ「事物の記憶」を可視化する作家による、美術館での初個展

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、HIRAKU Project Vol. 16 鈴木のぞみ「The Mirror, the Window, and the Telescope」を2024年6月8日（土）から12月1日（日）まで開催します。美術の表現と美術館の可能性を「ひらく」という思いが込められた本プロジェクトは、どなたでも観覧料無料で1F アトリウム ギャラリーにてご覧いただけます。



《The Rings of Saturn：舷窓-アイリッシュ海》2020年、北川正人蔵

写真：木暮伸也

HIRAKU Project は、過去にポーラ美術振興財団の助成を受けた作家を紹介する展覧会シリーズです。第16回目となる今回は、写真の原理を用いて、身近な日用品や古い家屋に潜む記憶や光の痕跡を可視化し、オブジェとイメージによってインスタレーションを生み出す鈴木のぞみをご紹介します。

大学で絵画を専攻していた鈴木は、独学で写真技術を学び始め、2012年に自身のアトリエであった築90年の古民家の木枠付き窓ガラスを用いて作品を制作しました。その窓から見えたであろう風景を撮影し、感光乳剤を塗布した窓ガラスそのものに焼き付けたのです。この邸宅のかつての住人が眺め、そして窓そのものが見つめてきた何気ない景色を、使い込まれた窓ガラスにおぼろげな像として現出させました。鈴木は、こうした日常のありふれたものに宿る「事物の記憶」を浮かび上がらせ、ものに直接定着させることを試みています。

2019年に渡英した作家は、船の窓や望遠鏡、ルーペといった様々な遺物や視覚装置を入手し、その来歴を調査しました。そして、人間の視覚体験や近代化を切り開いてきた科学や技術の進歩、ある時代や社会が共有する感覚や嗜好性を反映したイメージをそれらに焼き付け、「大衆の記憶」を暗示するような作品へと昇華させています。

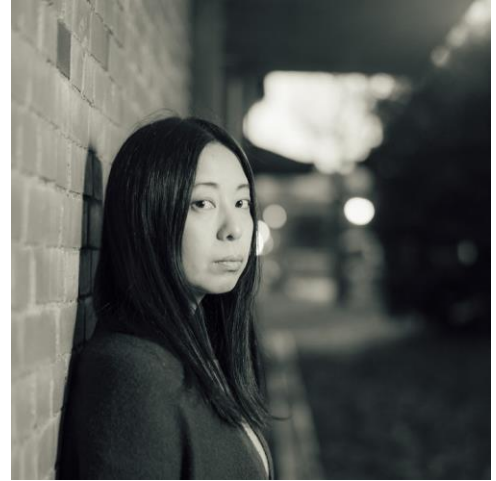
今回のタイトルにある Mirror（鏡）と Window（窓）は、絵画や写真の発展に不可欠だった要素であり、Telescope（望遠鏡）は人間の「見たい」という欲望を叶えた科学装置です。それらが留めてきた記憶や痕跡と真摯に向き合う鈴木作品は、写真表現の原初的な姿や、大きな歴史の流れと私的な「個」のストーリーに潜む、去りゆく時間や消えゆく光景について思いをはせる機会を我々に与えてくれるでしょう。

### 【今回の展示について】

作家にとって美術館での初の個展となる本展では、窓を用いた最初期の作品から、2019年のイギリス滞在中に出あった様々な遺物や視覚装置に、近代の人間の思想や営みを重ね合わせて制作された「The Rings of Saturn」シリーズまで、新作を含む約20点の作品をご紹介します。

### ■鈴木のぞみ（すずき のぞみ） 略歴

1983年、埼玉県生まれ。埼玉県在住。2007年、東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業。2015年、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。2022年、同大学院博士後期課程修了。2016年、「VOCA展 2016 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」（上野の森美術館）VOCA奨励賞受賞。2018年度ポーラ美術振興財団在外研修員（イギリス）。近年の主な個展に、「Words of Light（光の言葉）」第一生命ギャラリー（東京、2024年）、「The Rings of Saturn / Mirror with a Memory」rin art association（群馬、2021年）など。主なグループ展に、「セレンディピティ 日常のなかの予期せぬ素敵な発見」東京都写真美術館（2023年）、「潜在景色」アーツ前橋（群馬、2022年）、「無垢と経験の写真 日本の新進作家 vol.14」東京都写真美術館（2017年）、「NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体」埼玉県立近代美術館（2016年）などがある。作品は東京都写真美術館、アーツ前橋、ガトーフェスタ ハラダなどに收藏されている。



写真：平林岳志 (grasshopper)

### ■展覧会概要

HIRAKU Project Vol. 16 鈴木のぞみ「The Mirror, the Window, and the Telescope」  
 会期：2024年6月8日（土）－12月1日（日）会期中無休  
 会場：ポーラ美術館 1F アトリウム ギャラリー  
 観覧料：無料  
 主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館  
 協力：rin art association、riverside farm.、横浜市民ギャラリーあざみ野  
 企画：山崎菜未（ポーラ美術館学芸員）  
 展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/hiraku-project-16/>

ポーラ美術振興財団の取り組みについて：  
<https://www.polamuseum.or.jp/about/pola-art-foundation/>

### ■同時開催

「フィリップ・パレーノ：この場所、あの空」※別途入館料が必要です  
 会期：2024年6月8日（土）－12月1日（日）会期中無休  
 会場：ポーラ美術館 展示室 1、2、5、屋外  
 展覧会特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/philippe-parreno/>

### ■ポーラ美術館について

2002年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から20世紀にかけての西洋絵画を中心とした、国内屈指のコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する国際的な作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

**開館時間**：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

**休館日**：会期中無休

※2024年5月20日（月）～31日（金）、6月7日（金）展示替え休館、  
6月1日（土）～6月6日（木）常設展示室のみ開館

**所在地**：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

**TEL**：0460-84-2111

**入館料**【6月8日より】：大人 ¥2,200 / 大学・高校生 ¥1,500 / 中学生以下無料 / 障害者手帳  
をお持ちのご本人及び付添者（1名まで） ¥1,100 ※すべて税込 団体割引あり

**公式 Web サイト**：<https://www.polamuseum.or.jp/>

**<本件に関するお問い合わせ先>**

ポーラ美術館 広報担当：田中、稲見 TEL:0460-84-2111

ポーラ美術館広報事務局：小沢、岡 TEL:03-5572-7351（株式会社プラチナム内）

E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp